



# 黄に染まる

世界遺産

# 新原・奴山古墳群

今年も世界遺産新原・奴山古墳群で3月上旬から4月上旬に菜の花が見頃を迎えます。古墳の緑と、菜の花の黄色のコントラストをお楽しみください。 問い合わせ 市文化財課 ☎62・5093

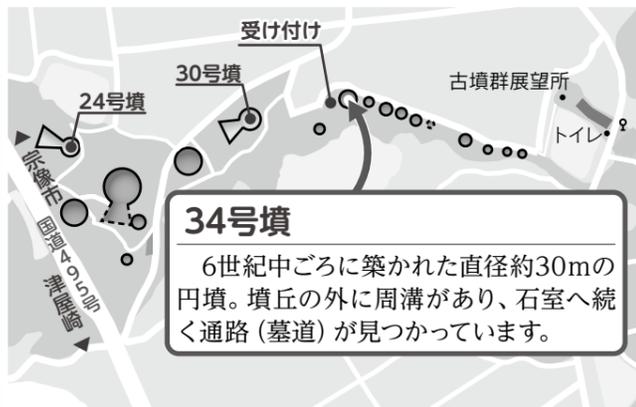


今回の菜の花の多くは、昨年、地元住民の皆さんが菜の花の種を収穫し、育てたものです。また、秋に市内48の市民グループや市内事業所、411人が春にきれいな花が咲くようにと願いを込め、種まきを行いました。畑の耕作から、種まき、種の収穫の一連の流れが定着して地域のにぎわいにつながることを願っています。

## 古墳の現地説明会を開催！

新原・奴山古墳群では、現在、発掘調査を行っています。その成果を発表するための現地説明会を開催します。無料で参加でき、予約は不要です。詳しくは市公式ホームページをご覧ください。

**日程** 3月26日(日) 午前10時30分から ※受け付けは午前10時から。説明は約1時間、少雨決行  
**場所** 34号墳付近 ※当日は現地であふくつの古墳まつりを開催しています。車で来場する場合、会場案内に従ってください



**34号墳**  
6世紀中ごろに築かれた直径約30mの円墳。墳丘の外に周溝があり、石室へ続く通路(墓道)が見つかっています。

## 見て触れられる古墳群 末廣公香さん

とても身近に感じられる古墳で、歩きながら間近で見ることができますし、直接触ることもできます。また、一列に行儀良く並んでいて、春に菜の花、秋にコスモスの花が彩る古墳群を展望所から眺めるのもおすすめです。



私のお勧めは30号墳です。全てを壊さず、古墳を大切にしてきた地域の人の思いが感じられる古墳です。



## 感じられる非日常 有吉敏高さん

新原・奴山古墳群にいますと、日常とは違う雰囲気、空気を感じることができます。展望所から辺りを見渡せば、小呂島や大島、正園古墳や縫殿神社があり、以前集落があったことなど、3世紀や5世紀ごろの雰囲気を自分なりに感じることができます。



私のお勧めは24号墳です。シルエットが美しく、自分の足で周囲を歩き、大きさを体感できる古墳です。



## ガイドにインタビュー

# 古墳群のここが見所

市内の歴史・文化に詳しい、市観光ボランティアガイド「いさば会」の有吉敏高さんと、末廣公香さんに、それぞれがお勧めする古墳の見所と、特にお勧めの古墳を紹介してもらいました。

## 古墳群の案内はガイドにおまかせ!!

毎週土曜・日曜日は、新原・奴山古墳群展望所で市観光ボランティアガイドが皆さんをお待ちしています。菜の花を見たり、ゆっくり散歩したりしながら、古墳群について話を聞いてみませんか。  
時間 午前9時30分～午後4時30分